

生ごみリサイクルに参加しませんか？

にいがた
未来ポイント
対象事業

新潟市生ごみ堆肥化実行委員会では、江南区と西蒲区に生ごみ処理機を設置しています。

ご家庭から出る生ごみの水分を切り、堆肥化に適さないものを取り除いた状態で、処理機の設置場所までお持ちいただければ、生ごみ処理機で堆肥化できます。

生ごみを持ち込むには会員登録が必要です。

興味のある方、参加を希望される方は、同実行委員会（循環社会推進課内）までご連絡ください。

詳しくは
こちらから

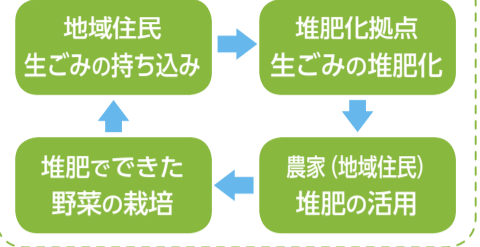


堆肥化拠点

江南区 農産物直売所「大地」
(茅野山2-1798-1)

西蒲区 森のエコステーション巻店
(巻甲1549-2)

事業のイメージ



問い合わせ | 循環社会推進課 ☎025-226-1391

災害時のごみ出し どうしたらいい？



近年、日本各地でさまざまな災害が発生しています。もしも、新潟市で大規模災害が発生し、多量の廃棄物が発生したとき、慌ててご自宅の前の道路や近所の公園、空き地などに廃棄物を投棄しないでください。

緊急車両の運行の妨げや、広いスペースは避難所、ヘリポート、物資置場などになる可能性があるため、市からお知らせがあるまでご自宅の敷地内で留め置いてください。

なお、災害時の生活で発生する生ごみなどの腐りやすいごみは、災害廃棄物とは別で収集を行いますので、分別にご協力をお願いします。



道路に投棄された様子(平成30年西日本豪雨)

廃食用油の持ち込み 回収対象か再度確認を



廃食用油の回収拠点に対象以外のものが持ち込まれることがあります。中にはエンジンオイルや機械油、または塗料など油ですらない悪質なケースもありました。

廃食用油は鶏の飼料原料などにリサイクルされており、対象以外のものは使用することができません。

持ち込む前に回収対象であるか、今一度ご確認をお願いします。

回収する油 | 菜種油、ゴマ油など植物系の食用油

回収しない油 | ラードなど動物系の食用油、エンジンオイル、灯油など

詳しくは
こちらから



問い合わせ | 環境政策課 ☎025-226-1357

温かいご支援を ありがとうございました！

新潟市清掃委託連絡会から新型コロナウイルス感染症対策協力基金として30万円ご寄付をいただきました。基金は、医療提供体制の整備や感染拡大の防止、市民生活および地域経済の回復を図る目的として活用されます。

また、株式会社ユニクロ様から、機能性インナー「エアリズム」960着のご寄付をいただきました。機能性インナーは、家庭ごみの収集作業員へ提供されました。温かいご支援をありがとうございました。



古布・古着の拠点回収 休止を継続

古布・古着の拠点回収は、新型コロナウイルス感染症の影響により、流通経路がひっ迫し、体制を維持することが困難となっており、本年5月11日から一時休止しています。

再開時期について多数のお問い合わせをいただいておりますが、現状では新型コロナウイルス感染症の収束時期を見極めることが困難です。

引き続き回収の一時休止を続けてまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、回収を再開する際には、サイチョプレスなどでお知らせします。

詳しくは
こちらから



問い合わせ | 廃棄物対策課 ☎025-226-1407

ごみ出し トラノマキ 06

特別編

廃棄物対策課

☎025-226-1407

資源ごみ出し袋の「無色透明」「無色半透明」について

資源ごみを出す際に使用する袋について、新潟市では中身に危険物や、異物が入っていないか容易に確認できるよう、「無色透明」または「無色半透明」のものを使用いただいています。

資源ごみは収集後に、処理施設で作業員が手作業での選別をしています。中身を容易に確認できないと、作業員のけがの危険性が増したり、取り除かれない異物が混ざる可能性が高まったりしてしまいます。ご協力をお願いします。

無色透明



無色半透明



有色不透明



バイオマスプラスチックを 使用した指定袋の モニター調査を開始します

温室効果ガス削減などを目的として、バイオマスプラスチックを使用した指定袋の導入検討に向け、モニター調査を10月下旬から開始します。

たくさんのご応募ありがとうございました。

古布・古着(休止中)、古紙 回収拠点が移転します

現在亀田清掃センター駐車場内に設置されている古布・古着、古紙回収拠点は、11月より亀田一般廃棄物処理場へ移転します。

問い合わせ | 廃棄物対策課 ☎025-226-1407

